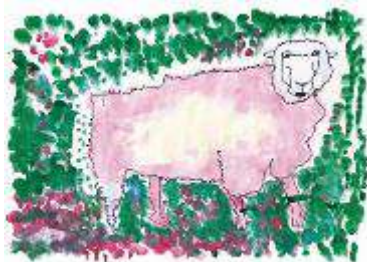


『母たちのスキルアップ支援』 とスキルの活用

障害者のしごとを考える母の会

団体概要

特別支援学校などに通う、様々な障害を抱えた子どもの母達のコミュニティから発足した会です。身近な支援者である私たちは、研修や資格取得などスキルアップをしながら、子ども達の将来の「しごと」「やりがい」「自分らしく過ごせる場所」をつくる活動をしています。子ども達を身近に感じていただけるように、絵画や音楽など誰もが気軽に関わることのできるイベントやワークショップの開催やお仕事体験を実施しています。



「障がい者雇用」をふつうのことに

Love the life you live.

Live the life you love.

自分の生きる人生を愛し

自分の愛する人生を生きられますように

<https://kokoronomama.wixsite.com/iroin-art>

kokoronomama.art@gmail.com

代表 沼田潤

背景・活動の動機

社会背景やきっかけ

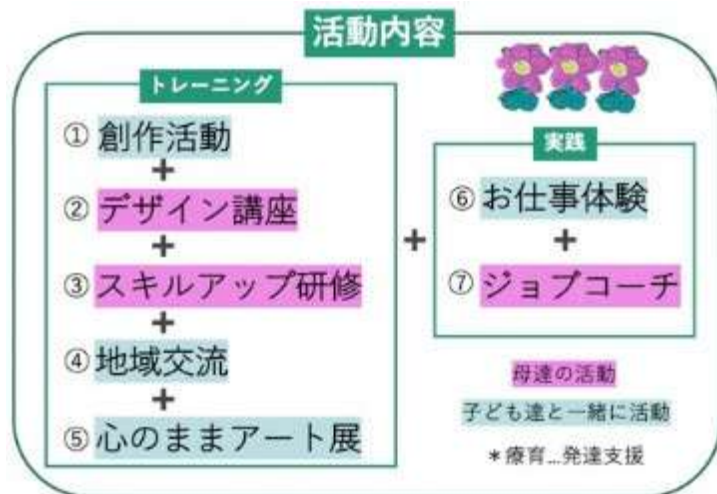
- 障害を抱える子ども達が増える一方で、個々に合った居場所(施設・就労先等)が圧倒的に少ない状況です。
- 母親達は学校を卒業した後の子ども達の人生に不安を感じています。
- どこにも相談できず自分ひとりで悩みを抱えている母親も多く、まだまだ閉鎖的な環境が見受けられます。
- 障害を抱える子どもの子育て環境は、周囲の理解や支援の体制によって大きく変わります。
- より良い環境にするためには、どのような障害特性があって何に困っているのかなど、まずは関心を持ってもらうことが大切です。

課題解決のために必要だと考えること

- 気持ちが楽になるコミュニティをつくること
- 障害理解が広がる場をつくること
- 親子が安心できる支援体制や環境づくりをすること
- スキルアップと働く支援

活動内容

チームで子ども達と楽しみながら活動をしています。
母達の生き生きしている姿を子ども達に見てもらうことも療育の1つだと思っています。



課題解決のため、事業で取り組むこと

- ① 創作活動 子ども達との創作活動・創作意欲に繋がる場づくり
- ② デザイン講座 作品に付加価値を付け社会に出す事で、彼らの才能や特性の周知の機会をつくり、後の仕事に繋がるようなサポート体制を学ぶ
- ③ スキルアップ研修 施設・事業所・医療機関や障害者雇用で有名な企業などに実際の働き方・過ごし方を見学に行ったり、チームで様々なスキルを高める研修実施
- ④ 地域交流 身近で関わりやすい音楽や芸術イベントなどを通じた地域との交流
- ⑤ 心のままアート展 活動の披露の場として2017年から年1回開催
- ⑥ お仕事体験 子ども達のお仕事体験実施
- ⑦ ジョブコーチ 障害者が円滑に就労できるように、職場内外の支援環境を整える

内容・スケジュール

①創作活動（通年）



②デザイン講座（5/15～7/26 計13回）

第1講座 ～デザインので、子ども達の作品をより素敵なものに～
(講師) グラフィックデザイナー 渡邊 純氏

- ・ 作品画像のデータ化・撮影方法や解像度
- ・ 色の調整・切り抜き・テキストの作成など

第2講座 ～作品を使って、ポスターとチラシをつくる～
(講師) グラフィックデザイナー 矢田 美紀氏

- ・ 『心のままアート展2019』のポスター・チラシ作り



③スキルアップ研修



洗えるBag講座
(8/28)



ジョブコーチ養成研修
(9/7~9/27、全5回)



支援人材育成研修
(10/29)



ウィンドウアート
講座(11/22)



著作権セミナー
(1/14)



展示会づくりのワーク
ショップ(2/10)

④地域交流 (kitpasワークショップの開催)



日大三島高校文化祭
(6/15,16)



沼津夏祭り
(7/28,29)



沼津市社会福祉大会
(8/7)



西浦地区センター
(1/19)



第二地区センター
(2/1)

⑥お仕事体験



企業イベント出店
(6/23)

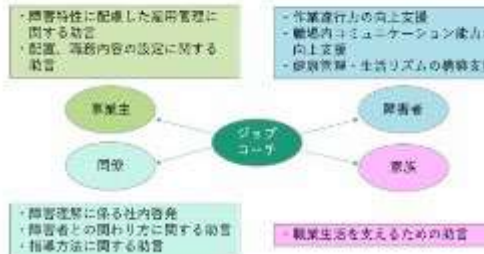


沼津特別支援学校の
職場体験授業
(12/16)

⑦ジョブコーチ

チームで知識を共有し
活動しています

※障害者が円滑に就労できるように、職場内外の支援環境を整える支援者。職場と対象者の力を引き出す。



⑤心のままアート展 (沼津市千本プラザ 9/11~17)

- ・沼津特別支援学校、沼津西高書道部、アトリエかもめなどの団体と連携・協力
- ・チラシ5,000枚を配布、ポスター200枚を掲示、HPやFacebookでの告知
- ・約150作品を展示し、来場者1,100人



メイン展示



スロープ展示



3mx3mの天吊り作品



題字



あいさつ文

成果指標と結果・考察・事業効果

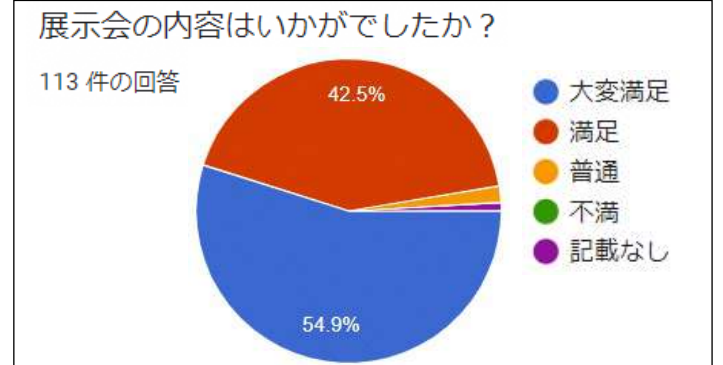
1. 『心のままアート展』の来場者と協賛者

年度	来場者	協賛者
2017	700名	企業15社・個人12名
2018	1,000名	企業50社・個人32名
2019	1,100名	企業82社・個人53名

●来場者と協賛者はともに増加傾向

2. 『心のままアート展』アンケート結果

- アンケート回収数は113
- 97.4%の方が「満足」「大変満足」を選択
- 自由記入欄への記入は8割超。多くの暖かな言葉を頂いた



3. 『心のままアート展』で制作した作品の展示

- 子ども達のアート作品は、公共施設、商業施設、レストランなど、各所で展示させていただくことができました。



サンウェルぬまづ
(8/23～8/31)



玄米レストランぜんな
(12/4～12/29)



清水町地域交流センター
(2/10～2/13)



静岡市役所
(2/11～2/16)



アフラック柿田川店
(2/21～展示中)



修善寺虹の郷
(3/29～7/15)

今後の課題・これからの展望・自己評価

今後の課題

『心のままアート展』の来場者、協賛者とも予定していた数値をクリアできましたが、参加者の大半は身内や福祉関係者で、一般の方の参加の状況はまだまだ改善の余地があると考えています。

これからの展望

実施する取り組みの更なる対象者の拡大・対象区域の拡大のために以下を予定しています。

①静岡県障害者文化芸術活動支援センター「みらーと」との連携

障害のある人が自由に文化芸術活動を行うための支援拠点「みらーと」主催セミナーへの参加や情報交換など、更なる連携を図ります。

②静岡県文化プログラムと連携

2021年度以降も継続して実施する予定となっている静岡県文化プログラムと連携し『心のままアートプロジェクト』を進めます。

自己評価

- 『心のままアート展』に向けて、企画や作品制作など様々な方にご指導いただくことができました。
- 子ども達の独創性や創造性表現豊かな作品と新たな繋がりが生まれました。
- 来場いただいた方々には、子ども達の自由な発想や豊かな色彩を感じていただけたように思います。
- 次年度は、より多くの方に私たちの取り組みを知っていただけるよう、さらなる周知をし、作品の展示先も増やしていきたいです。